



## ■ 概 要

社 名	新栄工業株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 馬場宣弘
設 立	1970年5月
所 在 地	〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-17-6
TEL/FAX	TEL. 03-3931-6451 / FAX. 03-3931-6279
従 業 員 数	24名 (男性12名・女性12名)
平 均 年 齢	44.8歳
U R L	<a href="http://www.shin-ei-kk.jp">http://www.shin-ei-kk.jp</a>

## ■ 業務内容

### 経営理念

スクリーン(シルク)印刷を主体とし、工業製品・光学製品・通信用製品および車載用フィルムアンテナなどの印刷、成型加工、プレス加工、抜き加工、エンボス加工等の製造(検査・組立)を行っています。

## 1. 製品種類

- ・導電印刷による弱電用メンブレンスイッチ、車載用フィルムアンテナ
- ・液晶用カラーフィルター、印刷偏光板、拡散板、カラー反射板
- ・透明導電インクによるシールド材
- ・ウレタンシートのフォーミング(エンボス)加工製品
- ・操作パネルの印刷製品

## 2. 技術加工

- ・30ミクロンのライン巾のメッシュ印刷をおこなえる。
- ・光学フィルターの印刷で、光源の波長を考慮し、インク色調を一致させる
- ・ウレタンシートを1ミリメートル以上に立ち上げる成型加工技術





受賞部門

# 長時間労働削減取組部門

新栄工業株式会社

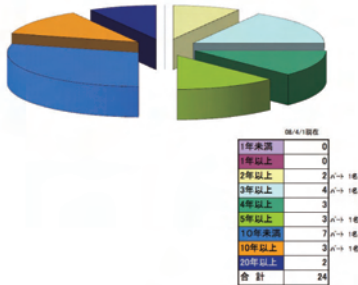


## 制度名

### 1 労働時間管理に対する研修

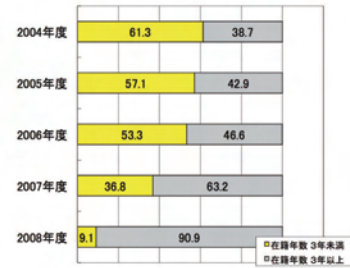
- ・毎週金曜日(定例会)に管理者としての意識高揚教育を目的とする、研修を行っている。
- ・第1,3金曜日「気づけ」教育の実施

2008年度従業員在籍分布図



在籍率/定着率

	在籍年数		備考
	3年未満	3年以上	
2008年度	9.1	90.9	
2007年度	36.8	63.2	
2006年度	53.3	46.6	
2005年度	57.1	42.9	
2004年度	61.3	38.7	



### 2 管理・監督者に対する意識啓発



### 3 業務を見直し、徹底的に無駄を排除 5Sの実施

#### 5S(「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「しつけ」そしてそれらの「習慣(化)」)

毎週金曜日の全体会議で、「無駄の削減」「5S」[CO<sub>2</sub>削減]の実践教育を行っている。「整理」「整頓」「清掃」を全社員に理解してもらい、業務簡素化、業務の無駄を見直す。無駄な時間や、エネルギーを削減することを徹底する。

開始時期



- ①今、必要なモノ、不必要なモノの選別
- ②不必要なモノを捨てる勇氣
- ③必要なモノは探しやすい、使いやすい、戻しやすい
- ④さらに(時短)改善策を考える





# 4

## ノー残業デー(月1回、第2月曜日)

- ・月一回、第2月曜はノー残業デーとする。その日は残業せずに定時で業務を終える。
- ・時短/時間の濃密化にチャレンジしよう。

開始時期  2008年6月

「ノー残業デー」とは、特定の曜日を決めて、**※1**ほどの理由がない限り、その日は残業させないで、定時で業務を**※2**強制的に終わらせるという制度です。

※1 36協定書 第7 午後6:45までに定時より早く帰ること。  
※2 協定書 第10条 協力ください！！

「残業して月付られない」という意識がなければ、定時に仕事を終わらせようとは思いません。残業を認めるコースを設け、残業は、臨時が緊急の場合に限り「行つてもいい」という残業の取組を認めます。  
※緊急の場合は、これ以外の曜日は残業をしてもいいという勤務表を作成しないでください。

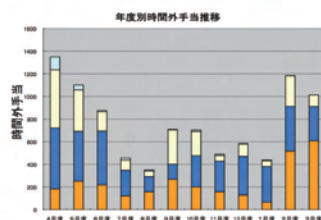
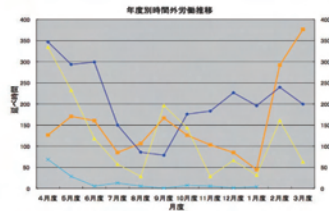
- ◆ 対象は各工場(本社、坂本、所沢)全従業員  
同僚部門(総務部、業務部、総務課等)を除きます。
- ◆ 2008年06月より「ノー残業デー」

**「第二 月曜日」**に、  
実行いたします。

2009年度04月から「第2、第3月曜日」に拡大

該当曜日が祝日の場合などはごさいません。

月	2005年		2006年		2007年		2008年	
	経費内D	体労費内D	経費内D	体労費内D	経費内D	体労費内D	経費内D	体労費内D
4月	128.5	184	246.0	330	224.9	314	68.0	112
5月	170.5	232	293.5	442	222.4	303	58.0	84
6月	180.5	220	290	475	118	171	5.0	8
7月	80	122	180	238	87.9	88	1.0	20
8月	106.5	158	80.5	120	28.5	48	5.0	8
9月	188.5	268	78.5	132	198.3	308	1	1
10月	128	208	176.5	271	143.5	214	7	12
11月	105	158	183	271	28.5	48	5.0	11
12月	80	120	226.5	341	68.5	110	1.0	3
1月	64.5	88	188.5	248	21.5	31	4	7
2月	280	511	238.4	388	160.8	270		
3月	278.5	408	189.5	303	83	102		
計	1842.0	2882	2473.4	3850	1481	2290	140	228



# 5

## 就業規則の改正

仕事と家庭を両立してもらうため、就業規則の改正を適宣行っている。  
また、働きやすい環境を追求し、定着率の向上を目指している(1年→3年→5年へ)

- 定年退職を60歳から65歳に引き上げ
- パート従業員の就業規則を改正
- 全社員(正社員、パート)の平等化
- 介護、育児規定の改定
- 父親による出生時立会いの休暇を1日支給。
- また、幼児(就学前)の子供がいる従業員は、急な病気の際の看病休暇を年3日支給。

# 6

## 5Sの実施でISO9001の認証取得

月1回~2回、ISO認証・取得の  
継続的改善に向けて教育を  
実施している。

登録番号 JUSE-RA-1400  
適用規格 JIS Q 9001:2000(ISO9001:2000)  
初回登録日 2007年05月21日(〜3年間)

**安全 第一**

安全と健康を最優先として、モノの管理を徹底し、作業環境の安全を確保し、事故・災害の発生を防止する。

**納期 短縮**

在庫の削減と生産プロセスの効率化により、納期を短縮し、顧客へのサービス向上を図る。

**生産 保全**

設備の定期的な点検とメンテナンスを行い、生産設備の稼働率を向上させる。

**品質 保証**

標準作業手順書の徹底と、検査プロセスの厳格化により、製品の品質を安定させる。

**コスト 削減**

無駄な作業の削減と、資源の有効活用により、生産コストを削減する。

**問題 表面化**

現場での問題発生を速やかに報告・対応し、根本原因を究明して再発防止を図る。

**多品 種化**

柔軟な生産体制の構築と、多品種小ロット生産への対応能力を向上させる。

ISO9001取得の7つの効果